

第31期第1回京都市社会教育委員会議の模様を マナビィがレポート！



平成25年8月8日（木）午後4時～6時、京都市男女共同参画センター（ウィングス京都）で、第31期京都市社会教育委員会議の第1回目となる会議が開かれました。第1回目の会議ということで自己紹介や今後の会議の進め方について議論しました。

会議の模様をわたくしマナビィがレポートします！

出席委員（15名のうち13名）

五十音順

井上 章一委員，井上 満郎委員，大八木 淳史委員，越村 美保子委員，齊藤 修委員，佐伯 久子委員，通崎 睦美委員，長屋 博久委員，西脇 悦子委員，林 早苗委員，諸岡 聖委員，安成 哲三委員，吉川 左紀子委員

今回はお一人の方が傍聴されました。



■ 生田義久教育長の挨拶

■ 門川大作市長のメッセージを披露

■ 第31期委員の自己紹介



○ 井上 章一委員 国際日本文化研究センター教授・副所長

国際日本文化研究センターの井上と申します。どうぞ、よろしくお願いします。

井上委員は、ユニークな視点で広く日本文化について論考され、建築論・美人論・男性論・関西文化論・日本文化論ほか様々なジャンルにまたがる著書を多数執筆しておられます。趣味は4歳から始めたピアノ（ジャズ）とのこと。テレビでもよく拝見しますね。



○ 井上 満郎委員 京都市歴史資料館長，京都産業大学名誉教授

日本歴史・文化に関わることを研究調査してきたことから社会教育委員に任命されたのではないかと考えています。

もちろん、大学での研究や調査は重要ですが、それ以上に研究や調査を社会的な形で提供することを重視し、時間を費やしてきました。自分の研究や調査の社会化に努めております。社会教育委員会議もそのような場と考えています。



○ 大八木 淳史委員 元ラグビー日本代表・芦屋大学特任教授，芦屋学園中学高等学校長・大学附属幼稚園長



スポーツを中心に活動してきましたが、43歳の時に大学に戻り、政策学から、スポーツの多面的要素を考察することを研究しています。例えば、現在、オリンピックの東京都誘致活動が行われていますが、東京開催の意義や効果を客観的に分析・評価するなどです。柔道連盟の問題、大阪桜ノ宮高校の事件等、スポーツの要素から

言うと本来起こってはいけないことが起こってしまい、社会からはスポーツが間違った方向で捉えられてしまっています。襟を正さなければならない問題だと考えています。

○ 越村 美保子委員（市民公募委員・新規） 大学非常勤講師



愛知県の出身で、大学から京都に来て18年くらいになります。小学6年生、4年生、幼稚園年少の子どもがいます。夏休みのため、家は大変な状況になっていますが（笑）、今日はなんとか出てきました。

主婦として子育てをしていましたが、社会とつながりたいと思い、大学院に入学し、文化政策を勉強しています。夫が京友禅の仕事をしているので、「伝統産業の活性化」をテーマに研究しています。子どもを育てながらで、なかなかまとまらないのですが、これからの長い人生、京都の知的資産を活用しながら、私自身も生涯学習をしていきたいです。

○ 齊藤 修委員 京都新聞社相談役

長らく記者をやっていましたが、今は編集の現場からも、経営の現場からも少し離れて、相談役をしています。

「3.11（東日本大震災）」は日本の戦後の政治経済の見直しのきっかけになりましたが、メディアにとってもそうです。私は目下「メディアと災害報道」をテーマに勉強しています。京都メディア懇話会をつくって、KBS 京都、FM 京都等の仲間と勉強し、大学で寄付講座を開講したりしています。自分がしてきたことを活かしながら、社会に貢献できたらと思っています。



○ 佐伯 久子委員 京都ユネスコ協会会員



最近、地域の絆が注目されています。私は、ユネスコ協会会員、京都市地域女性連合会副会長のほか、小学校・中学校の学校運営協議会の理事を務め、また、地域の保護司として中学校の不登校の子どもを受け持っています。

この会議では、「子どもを共に育む京都市民憲章」についてなど、地域の目線で、また、おばちゃん目線で伝えていければと思っています。

○ 通崎 睦美委員 マリンバ・木琴奏者

5歳からマリンバを演奏しています。木琴は1935年製の平岡養一さんという演奏者が使っておられたものを弾いています。また、アンティーク着物が好きで、それも1920-30年のものです。リノベーションして倉庫代わりに使っている長屋もその時代のものです。ちょうどその時代が私のくらしと仕事に共通しています。先ほど、教育長の挨拶で「京都ならではの生涯学習」とありましたが、



歴史ある京都ならではのことにについて、なにかできるのではないかと日々、考えています。

平岡養一さんは、アメリカ・日本で活躍された音楽家で、戦後、「NHK 紅白音楽試合」(「紅白歌合戦」の前身のラジオ番組)にも出演されたんだ。平岡さん71歳、通崎委員10歳の時に京都で共演。平岡さんが亡くなった後、平岡さん自身で改造を重ねた愛用の木琴は、御遺族から通崎委員に譲られたんだって。歴史と意思のつまった木琴なんだね。



○ 長屋 博久委員 (新規) 平成23・24年度京都市PTA 連絡協議会会長

平成23・24年度京都市PTA 連絡協議会会長を務め、今年度は人づくり21世紀委員会幹事長を務めています。市役所の隣で生まれ育ち、御所南小学校に2人の子どもを通わせる保護者です。サラリーマンを辞めて家業を継いだ頃、子どもが通っていた、中京もえぎ幼稚園の園長に誘われてPTA活動を始めました。サラリーマンの頃は、このような活動とは無縁の生活をしていましたが、PTA活動を通して、生涯学習や地域教育というものが少しずつ理解できてきました。



○ 西脇 悦子委員 京都市地域女性連合会会長



地域女性連合会は社会教育関係団体であり、生涯学習を多くの人に広げていくにはなにが大切かを考え、子育て支援、環境問題、男女共同参画社会の実現等、地域に根付いた活動をしています。

先ほどの市長のメッセージに「地域力」「人間力」を活かしたまちづくりをとおっしゃったように、我々の活動が少しでもお役にたてればと思っています。

○ 林 早苗委員 京都市小学校長会本部役員・京都市立仁和小学校長



京都市立学校の中でも、とりわけ小学校は地域と密接なつながりがあります。先ほど、齊藤委員から災害についてのお話がありましたが、全市的にどの小学校でも、地域との絆を深めながら、防災・安全教育に取り組んでいます。自校では今年度全市で取り組み始めている、「引き渡し訓練」も行いました。地域コミュニティの拠点を担う学校現場の立場として、この会議に参加していきたいと思います。



引き渡し訓練とは・・・
災害が起こった時、安全を確保のため、子どもたちを下校させずに学校に留めて、状況を見て、適切に保護者に引き渡すための訓練だよ。でも、通信手段がなくなって保護者との連絡がとれなくなるとか、すぐにお迎えに来てもらえないとかの事態もあるよね。あらかじめ引き渡しの方法を決めておくこと、また確認しあっておくことが大切なんだ。

仁和小学校での訓練の様子が紹介されているよ
<http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=102407>

○ 諸岡 聖委員（市民公募委員・新規） NPO 法人役員・大学院生

大学院では、町内会・自治会といった地域コミュニティの市民参加や福祉活動について研究しています。また、参加しているNPO活動では、行政と協働して高齢者の人づくり支援をしています。個人としては、京都市未来まちづくり100人委員会の他、左京区の市民参加のお手伝いをしています。



これらの活動を通して、幅広い世代の人と接し、多くのことを学ぶことができました。地域活動の楽しさ、世代を超えて互いに学ぶ楽しさを感じています。

私の強みである若い視点を生かし、人々がどのように学びに参加し社会に還元していくかを考えていきたいです。 23歳の最年少委員。フレッシュな意見を期待しています！



○ 安成 哲三委員（新規） 総合地球環境学研究所所長



今年4月から、上賀茂にあります総合地球環境学研究所の所長をしています。

社会教育委員として、何ができるか、まだよくわかりませんが、よろしくお願いします。



安成委員の、専門は気候学・気象学、地球環境学。モンスーンの周期的変動の実態を観測的に解明する等されているんだ。
趣味は登山など。学生時代には京都大学探検部に所属され、チリ・パタゴニアを探検したんだって。
総合地球環境学研究所では、「地球研オープンハウス」等を通して、地域の方々と交流を深めているんだ。子どもたちに自然の不思議さ、科学の面白さを伝える「キッズセミナー」や学校での出張授業はとっても人気なんだ。

○ 吉川 左紀子委員 京都大学こころの未来研究センター教授・センター長

普段は大学で「こころ」の研究をしています。最近、学生が幼くなってきていると感じています。昔は、人間は歳を取るにつれて知識の量と経験が増え、自然に大人になっていくものですが、最近では、インターネットの普及もあり、知識豊富な若者も多いです。そういう中で、人間が大人になるとはどういうことなのか、大人は社会の中でどういう責任を果たしていくのか、次の世代をどう育てていくのか、「大人になる」というプロセスを考え直す時期に来ているのではないかと思います。この会議は、社会の中での学びについて、様々な情報を共有する貴重な機会となっています。



当日御欠席の茂山 千三郎委員（狂言師）、鈴鹿 可奈子委員（新規、株式会社聖護院ハツ橋総本店専務取締役）には、次回以降の御出席の時に自己紹介をしていただきます。



■ 委員の職務・会議規則等について

(事務局から)

委員の職務・定数・任期及び会議規則等について説明。

■ 議長・副議長の選出

・井上満郎委員に議長、西脇悦子委員に副議長をとの御推薦の意見があがり、全会一致で決定しました。

○ 井上 満郎議長

この会議は、様々な分野の方が集まって、独立した意見をいただく場です。それぞれの分野から御発言をいただければありがたいです。また、議長としてそれを引き出すことが仕事だと思っております。

○ 西脇 悦子副議長

議長のお手伝いができたらと考えております。
どうぞよろしくお願いいたします。



■ 開 会

■ 議事-1 会議の公開について

会議は原則として公開とし、原則として市民の傍聴を認めること、会議の摘録を公開することについて、合意しました。



■ 議事-2 第31期の審議テーマ等について

今後2年間にわたって審議する基幹テーマについて、事務局より、前期に引き続き「『はばたけ未来へ！京(みやこ)プラン』の着実な推進(2)～まち全体をまなびやに、大人も子どもも学び育つまちをつくる～」の提案がありました。

(事務局から)

・本市では、今後10年間の市政運営の基本となる京都市基本計画「はばたけ未来へ！京プラン」を生涯学習の指針として位置付けています。前期会議では、本計画登載の生涯学習の各施策について御審議いただきましたが、審議未了の項目もありますので、引き続き御審議をお願いしたいと思います。

○ 井上 満郎議長



施策の項目は9つありますが、前期会議で審議できたのは3つです。残された項目を中心に、新しい委員をお迎えしましたので、すでに審議した項目についても振り返りながら、審議を進めていきたいと思っております。

委員の合意を得ました！



■ 議事-3 京(みやこ)まなびミーティングについて

「生涯学習の理念」を広く市民を共有し、市民ぐるみで生涯学習のまちづくりを進める機運

を高めていくため、社会教育委員による講演・研修・授業等を行う「京（みやこ）まなびミーティング」について、市内各所で実施しています。今期も引き続き実施していくことで合意しました。

過去7回のレポートはここから読めるよ。いずれも大好評を得た興味深い内容だよ。
<http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/category/180-8-2-0-0-0-0-0-0-0-0.html>



○ 井上 満郎議長



積極的に出かけていって、社会教育の現場で活躍していただく事業です。
また、この事業をはじめ、刊行物への寄稿等をお願いする場合があります。よろしくお願ひいたします。

■ 議事-4 全国社会教育研究大会（三重大会）の出席者について

・ 諸岡委員に御出席いただくことに決定しました。

「学校、家庭、地域を大切にしたい人が輝き、協創する社会教育の推進」をテーマに10月に開催されます。次回会議で御報告していただく予定だよ。



■ 報告-1 生涯学習関連事業 平成24年度の取組状況について

（事務局から）

本年度の状況を取りまとめた結果、本市における生涯学習関連事業について、本市全体で継続実施362事業、完了（廃止）6事業、新規事業4事業の合計366事業を行っています。

互いに連携・協働を図りつつ推進して参ります。

■ 報告-2 京都市男女共同参画センター「ウィングス京都」の取組について

（事務局から）

生涯学習関連事業には、「意欲を高めて学びに取り組めるしくみづくり」も含まれていますが、これを進めるためには、男女共同参画・真のワークライフバランスを推進することが極めて重要であると認識しております。こうした本市の重要施策を進めるため、本日の会場であるウィングス京都「京都市男女共同参画センター」が行っている取組についてスタッフの方から御説明いただきます。

（ウィングス京都から）

・ 4つの柱を中心に事業を行っています。

①講座・セミナーの企画運営、調査研究

自分の生活に男女共同参画社会がどのように

関わっているのかの講座、DV(ドメスティック・バイオレンス)やワークライフバランス等

②活動の場の提供

会議室、イベントホール、調理ルーム、フィットネスルーム等。

③情報提供

図書情報室では、元々は女性問題を中心としていましたが、現在は、男女共同参画社会についての資料を中心に収集・提供を行っています。

④相談

女性のため、男性のための相談を行っています。「男性のためのDV電話相談」をはじめたところです。

DVとは・・・

夫婦や恋人など近親者間に起こる暴力全般のことをいうんだ。

男性から女性だけでなく、女性から男性への暴力も問題化してきているんだよ。



・男性として生きづらい世の中、女性として生きづらい世の中の改善を一緒に考えて行きたいと考えています。

■ 主催事業 及び 刊行物等の案内・説明

(事務局から)

・「ジュニア京都検定テキストブック」の改訂について



京都の優れた文化を守り、京都の良さを次代へ継承していく子どもたちを市民ぐるみで育てるため、幅広い分野の市民からなる「歴史都市・京都から学ぶジュニア京都検定推進プロジェクト」を平成 17 年度に設けました。

その主な内容は、テキストブックの作成、ジュニア京都検定の実施、ジュニア京都観光大使による京都の魅力の広報活動などです。

流れとしては、まず、テキストブックを本市立小学校の 4 年生に無償配布して京都への興味関心を深めるきっかけにってもらいます。そして、5・6 年生で基礎コース・発展コースを受検してもらいます。発展コースを受検した子どもたちは、名人コースへのチャレンジもできます。これらの検定には、通信検定も合わせると毎年 2 万人を超える子どもたちが受検しています。なお、名人に認定された子どもたちの中から特に優れた子どもたちを「ジュニア京都観光大使」に任命し（今年度は 8 名）、京都の魅力の広報活動を行ってもらっています。

本日お配りしているテキストブックは、昨年「古典の日」が法制化されたことを受けて、4 ページ増やして古典文学分野の記載内容を充実させた改訂版です。一般の方には販売もしています。子どもたちには、テキストでの学習や検定の受検とあわせて、様々な実体験を通して京都の歴史・伝統を感じてほしいと考えています。

■ 閉会 [井上議長]

■ 閉会挨拶

中村公紀 生涯学習部長から挨拶がありました。

■ 「ウィングス京都」施設見学

